

エンカウンター（ENCOUNTER）

第 69 号

平成20年1月20日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西2-14-28 山口周三

電話 045-912-1960

バジレア・シュリンク

「愛のまなざし 神の子の日ごとのよりどころ」より（2）

2月18日

もしあなたが悲しみと憂うつから逃れられないなら、大きな声でこう語りなさい。「はい、お父様、私は自分の十字架を背負います」と。この言葉はあなたの重荷を軽くするでしょう。

神のなさることに意志をゆだねる決心には、人間の心を変える力があります。そしてそれによってあなたは悲しみから解放されます。

2月22日

どうしたら自分の困難は解決されるだろうかとあなたは自問し、あらゆる目に見える可能性を考えます。しかし困難の解決は他方からやってきます。それは目に見えない世界である神の現実からやってくるのです。すると神は突然あなたにとって現実となり、あなたは神のご臨在と助けを体験するのです。

2月23日

父の愛は、御自分の子らのすべての涙に豊かに報いて下さいます。父は彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださるのです（黙示録 21.4）。放蕩息子のたとえでイエス・キリストが示されたように、父は彼らを腕に抱き締められるでしょう。父は艱難の後で比べものにならないほど重みのある永遠の栄光を私たちにもたらして下さるでしょう。（コリント 4・17）。歓声と歓喜が私たちを迎え、父は限りなく苦しみに報い、喜びに満ちて地上の日々の収穫を見せて下さるでしょう。

私たちの思いをこの目的に向けましょう。そうすればもっとも大きな痛みも私たちには小さく感じられるでしょう。

2月24日

神は愛なり。このことがあなたにとって十分でありますように。理解し難い導きがあるとき、神を理解しようとするのではなく、その導きをへりくだって受けなさい。そうすればあなたは知恵深くなり、神の心を知るでしょう。たとえあなたの知力では神の計らいがまだ理解できなくても、あなたはへりくだりの愛を通して、神の愛の本質を深く知るでしょう。

神の力強い御手の下で自分を低くしなさい。そうすればあなたは、理解できないすべての導きにおいて神の御旨のうちに平安を得るでしょう。

2月27日

「私には多くのものが欠けています。私にはすべてが欠けています。私はもはや何の助けも見出せません。」あなたはそう思い込んでいます。しかしあなたの父である神は、欠けているものが多かろうと少なかろうと問題にされないのです。むしろあなたに欠けているものが多ければ多いほど、神は御自分の奇跡の力を示すことができになります。ですからこうたたえなさい。「神様は、私が多く欠けているが故にまさにそれを私にお与えになります。」と。そのような信仰は物事を変えるのです。

3月4日

神は愛です。ですから神にとってご自分の子らが愛する者となること以上に大切なことはありません。神は私たちが愛するとき、すべてがよくなることをご存知です。ですから神はこう語られます。「私があなたがたを愛したようにあなた方も愛しなさい」 愛の代償を期待せずに。

御父が悪人を担うように、あなたも悪を行なう人々を担いなさい。言葉や行いでなされる悪に愛をもってこたえなさい。すべてに耐え、決してあきらめず、いつも他人のことをよりよく思う愛をもって愛しなさい。この愛は勝利します。この愛は全能です。それは神の心から私たちの心の中に湧き出る愛だからです。この愛を獲得することが私たちにとって最大の課題となりますように。

だれもがそれを得ることができます。なぜなら、それは約束されているからです。「願いなさい。そうすれば与えられます」(ヨハネ 16・24)

3月7日

愛の父なる神は、あり余るほど分け与えられます。神は、御自分の子らのためにあふれんばかりの自然の美や、豊かな賜物や才能を与える方です。

もしあなたが貧しいのであれば、それはあなたの心が小さくて、神から大いなるものを何も期待しないためではないでしょうか。

3月8日

神と共にある静かなときを絶やしてはいけません。神にもっと多くの時間を献げなさい。神のご臨在の中にとどまることは何ものにも変えられません。その中であなたは強くされ、それによってあなたは変えられます。

神のご臨在を求めなさい。神のご臨在によって、あなた自身が解決できないことも解決されます。

3月9日

聖なる憂いなき安らぎ、祝福や愛に満ちる天国は神の子らのものです。しかし、神の子らであることを、日々へりくだりの生活を通して実行しなければなりません。彼らは人々に赦しを求めて身を低くします。人が目もくれない末席を喜んで受けます。子供のように人から諭しを受けます。そのような人々に、次の約束は実現するのです。「天の国は子供たちのものである」(マタイ 19・14 参照) 彼らは既に地上において天国の一片を味わっています。

3月11日

あなたは、父なる神の愛を理解したいとは思いませんか。もしそうなら「再び彼らの罪に心を留めることはない」(エレミヤ31・34)という神の御言葉を聞きなさい。神は私たちの最も重い罪でさえ、それが悔い改められるなら、忘れてくださるのです。しかし、神は私たちが愛から神に献げた最も小さな行いや犠牲を決してお忘れになりません。

神のこの愛を理解できる者がいるでしょうか。神のなさることは、闇のさなかにあって神の愛を信頼するよう、あなたを勇気づけるでしょう。

3月13日

最大の苦難の時、父の子らにとって確かなことが一つあります。それは、父なる神はその子らの間であがめられるために御自分の助けと奇跡をお示しになることです。

神は「驚くべき」(イザヤ9・5)方です。神はその子らが苦境の極にあるとき、御自分が苦境より偉大であり、風と波、破壊の力が御自分の支配下にあることを立証なさるでしょう。神は昼も夜も叫び求めている選ばれた人たち(ルカ18・7)を驚くべき力で支えてくださるでしょう。

3月16日

全能で偉大なる神は、大いなる業を喜んでなさいます。しかし、私たちのプライド、自慢やうぬぼれが神の御業を妨げます。ですから神は、私たちにへりくだり、身分を低くし、謙虚になるようにと呼びかけておられます、神の邪魔にならない小さな人たちにのみ、神は大いなることを成してくださいます。

3月17日

イエスは私たちに「御旨がなりますように」という祈りを教えておられます。イエスはこの祈りをもって、私たちに恵んでくださるのです。なぜならこの祈りを通して、自分たちの意志をささげることになるからです。自分の意志には限界があり、それは誤りを犯しやすいために、私たちに不幸をもたらすこともあります。しかし、神の御旨がなされるなら、それは完全な知恵と愛の御旨です。神のみが私たちにとって何が善であるかをご存じです。ところが私たちにはそれが分かりません。ですから、あなたの意志と願望を完全に神にゆだね「神よ、御心がなりますように」と祈りなさい。そうすれば、あなたは最高の人生を選んだこととなります。

神の御心は、栄光のゴールへと大きな愛をもってあなたを導いてくださるのです。

3月19日

訓練の道、懲らしめの道は、しばしば神の似姿に変えられ、栄光の目標に達したいと願う私たちの祈りに対する答えです。その時こそ、主はあなたが祈り求めた目標へと導いておられるのです。楽な道は、あなたをその目標に至らしめないでしょう。そうでなければ、神はその道をお選びになったはずです。

神が導かれる道を愛しなさい。その道はあなたの祈りの答えであり、あなたに最大のもの、すなわち栄光をもたらしてくれるからです。

3月24日

大きな困難や不可能に目を向けてはいけません。そこにとどま
てはいけません。

神は父であり、愛であられることを覚えなさい。神はあなたに困
難にまさるものを用意しておられます。

神があなたにやがて与えようとしておられるものは困難ではなく、
いつも解決、喜び、栄光なのです。

3月26日

神は愛です。愛の本質の一つは誠実です。ですから神は決してあ
なたを見捨て、失望させません。神は最後まであなたを導き、背負
い続けてくださるのです。しかし神はあなたの愛を求めておられま
す。

神はあなたにこう願われるのです。「あなたがもはや私を理解でき
ない時、困難な苦しみの道を歩まなければならない時、あなたの愛
のしるしとして、私に対する信頼と忠実を守り続けなさい」と。

3月28日

父なる神は、ご自分の子らが御子イエスに対する愛ゆえ、すすん
で十字架の道を選び、イエスのために貧しさ、へりくだり、いろい
ろな苦しみの道を歩んでいる時に、決してこうした苦しみだけを味
わわせることはなさいません。神は絶えず繰り返し、喜びと励まし
を用意しておられます。

困難な十字架の道を歩む時こそ期待しなさい。待ち望むものは喜
びと励ましを体験するでしょう。しかし十字架を恨み、自分の心を
閉ざすものは、神の恵みと慰めを退けるのです。

3月30日

神はまことの父として御自分の子らに約束を与え、それが成就するように見守ってくださいます。神が御自分の約束を破り、その約束の成就を体験させてくださらないなど考えられるでしょうか。

神が約束を破ることは不可能です。なぜなら神は真理であり、愛であるからです。神は私たちを失望させるためにではなく、私たちに御自分の助けを確信させるために約束をしておられます。

神の約束をしっかりとつかみ、それを握っていなさい。そうすれば助けはやってきます。

4月3日

私たちが落胆し、もはや何の助けも体験しない時、聖書の御言葉に従って「神は私たちの神、救いの御業の神」(詩篇 68・21)と唱えましょう。神は助けることがおできになります。神は全能であられるからです。

神は助けてくださいます。神は愛であり、愛はいつも助けるものだからです。従って私たちは助けが与えられることを確信できます。私たちには助けが来ないと自ら判断を下し、悲惨な状態にとどまるなら、私たちは助けを体験しないでしょう。

4月4日

あなたは、自分に負わせられている重荷にもはや耐えられないと
考えています。御父がご自分の子であるあなたにかけられる慰めの
言葉に耳を傾けなさい。間もなく暗い谷間は通り抜けます。間もな
く輝くばかりの喜びと幸福があなたを待ち受けます。涙の分だけ笑
いとなるでしょう。「今泣いている人々は、幸いである、あなたがた
は笑うようになる」(ルカ6・21)

涙が笑いに変わる時を期待して生きなさい。その時は訪れます。
そして笑いは永遠に絶えることはありません。それはあなたがまだ
この地上にいる間に訪れます　もしかしたら明日かも。ですから
その時を待ちなさい。

4月8日

あなたは自分のことで思い悩んでいます。なぜなら、あなたは気
難しい人間だからです。それで自分を受け入れることが出来ません。
しかしあなたを造り、あなたを愛しておられる神はあなたを助け、
あなたに道を示してくださいます。それはありのままのあなたを受
け入れることです。そうすれば神はイエスにあって、あなたを本来
あるべき姿に変えてくださるでしょう。神は謙遜な者に恵みをお与
えになるからです。

4月12日

高慢にならず、人々からよく見られたいと思わず、諭しを受ける
控えめな小さい者、卑しい者に神の愛は向けられています。御父は
慰めと助けと慈しみをもって彼らに心を開かれます。御父は彼らが
祈り願うあらゆる善を彼らにお与えになります。ですから、卑しい
者の道を選び、身分の低い者になりなさい。そうすればあなたは御
父の贈り物に共にあずかるでしょう。

4月14日

私たちの祈りが聞き入れられるために、神が約束された祈りをささげなければなりません。イエスは私たちにそのような祈りを教えておられます。それはイエスの御名による祈りです。父なる神の御前で、神の愛する独り子、イエスの御名を呼びなさい。この御名は御父の心を開く鍵です。イエスの御名によって祈られる願い、すなわちイエスの霊と御旨に従う願いを示してもらいなさい。そうすれば神はあなたの願いに答えざるを得ません。なぜなら、私たちのためにすべてをお献げになったイエスの御名が神の心を勝ち取るからです。御父は御子のどんな祈りも拒むことができません。

イエスは言われます。「あなたがたが私の名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる」(ヨハネ 16・23)と。あなたはそうに祈りますか。そうすればあなたは自分の祈りが聞き入れられるのを体験するでしょう。

4月16日

あなたの父である神は、しばしばあなたが望まないような困難に道へとあなたを導かれます。それは、神が望まれるものだけをあなたも望むようにと学ぶためです。どんな状況にあっても神の御旨に従うということを学んだ人は、自分の人生を平和と喜びに満たすものが何であるかを学んだ人です。彼は最も困難な導きの中でも、幸福かつ平和でいられます。なぜなら彼にとって御旨は最善で安らぎだからです。

人生の小さな問題に直面したとき「御旨がなりますように！」という祈りを実践しなさい。そうすればあなたは大きな苦しみを克服し、神の御旨の中で安らぎを得るでしょう。